



がんばっていきましょい

愛媛県立松山東高等学校

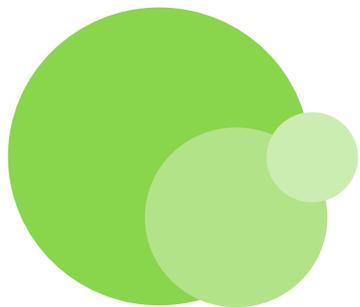
MATSUYAMA HIGASHI

EHIME Prefectural Senior High School

東高がんばっていきましょい

— グローバルからグローバルへの挑戦 —





目次



1. 構想概要

2. 研究開発・実践や高大接続について

3. 管理機関としての取組

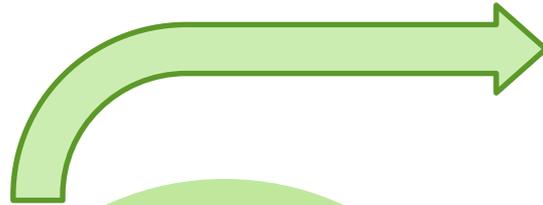
4. 本取組における課題



グローバル明教

グローバル・リーダーを育成するための課題研究プログラム開発

育成する人材像



地域マネジメント力を身に付け、郷土の課題の解決に貢献する志をもった人材

グローバルな視点を持ち、郷土の魅力を世界に発信し、持続可能な社会の発展に貢献する人材

課題研究のための資質・能力育成カリキュラム開発

学校環境のグローバル化

坊っちゃんタイム

愛媛の力(愛媛型産官学連携)

- ・愛媛大学・松山大学
- ・いよぎん地域経済研究センター
- ・坂の上の雲ミュージアム・子規記念博物館
- ・愛媛県教育委員会・愛媛県・松山市

グローバル・リーダーを育成するための持続可能な課題研究



グローバル明教（G明教）

グローバルとの出会い

G明教Ⅰ 1年生1学期 360人 2単位

<アイデンティティとグローバル>

- ・本校の歴史（講演）
- ・秋山兄弟が接した世界（講演）
- ・松山市内フィールドワーク（坂の上の雲ミュージアム・秋山兄弟生誕地）

<アジアと愛媛の企業>

- ・愛媛の企業のグローバル化とSDGsへの取組について（講演）
- ・県内企業訪問（三浦工業・井関農機・渦潮電機・住友化学・住友重機械・住友林業・住友金属鉱山）

◆県内企業訪問報告会

- ・優秀レポート発表

★海外フィールドワーク

- ・台湾・フィリピンにおける企業拠点訪問及び現地大学・高校との交流、ディスカッション

◆海外フィールドワーク報告会

- ・海外フィールドワーク報告、短期語学留学参加者発表（松山市立子規記念博物館）

グローバル課題の発見

G明教Ⅱ 1年生2,3学期 360人 2単位

<地域及び世界の持続可能な発展のために>

[松山市総合計画及びまつやま圏域未来共創ビジョンから学ぶ地域の魅力と課題]

- ・SDGsについて（講演）
- ・松山市の課題と魅力（講演）
- ・課題研究事前説明
- ・「安心・安全のまちづくり」「魅力あるまちづくり」を目標に、高大連携・地域連携による協働的研究活動
- ・国内外学会へのポスター発表

★県内・市内フィールドワーク 産官学による連携

- ・先進地視察
- ・調査

◆研究成果発表会

- ・ポスター発表
- ・ポスターセッション実施

グローバル課題への取組

G明教Ⅲ 2年生 通年
グローバルコース80人 2単位

<地域マネジメント力の育成>

・高大連携・地域連携による、より高水準な専門的課題研究を行うためのグローバルコースの設置

- ・「安心・安全のまちづくり」「魅力あるまちづくり」を目標に、課題研究のための協働的研究活動
- ・国内外学会へのポスター発表
- ・地域での政策提言や実践活動

★海外フィールドワーク

- ・ロサンゼルス修学旅行
- ・シンガポール・マレーシア修学旅行
- ・ウガンダでの国際協力活動
- ・ドイツでの環境学習

★国内フィールドワーク

- ・先進地視察

◆研究中間発表会

- ・ポスター発表（個人）

◆研究成果発表会

- ・シンポジウム開催（Ⅰ英語・Ⅱ政治・外交・Ⅲ地域・経済・Ⅳ環境・開発の4分野）

●「松山市内高校生地方創生会議」

グローバル課題の解決と発信

G明教Ⅳ 3年生1,2学期
グローバルコース80人 1単位

<協働的研究活動および研究論文の作成>

- ・G明教Ⅲから引き続き大学・地域等と連携した協働的研究活動
- ・研究成果をまとめた論文の作成（個人・グループ）

◆研究論文発表会・研究成果の発信

- ・文化祭での研究論文発表会
- ・タウンミーティング、EGFキャンパスアワードでの政策提言
- ・国内外学会への研究論文発表
- ・学校ホームページ上での研究成果の公表
- ・海外大学進学のためのエッセイ等の作成

●「中四国高校生地方創生会議」

※オーストラリア短期語学研修他各種語学研修
※次世代リーダー育成塾
※トビタテ!留学JAPAN他、各種留学
※えひめ高校生ハワイ派遣事業

※留学生受入（アジア高校生架け橋プロジェクト等）
※県内留学生との交流
※俳句による海外高校生との交流



課題研究のための資質・能力育成

坊っちゃんタイム(言語活動の充実)

語学力
コミュニケーション能力

思考力・判断力
表現力・分析力
発信力

○英語科

- ・高度なDiscussion&Debate力・高度語学検定取得
- ・各種スピーチ・ディベート ・エッセイコンテスト など

○内容言語統合型学習(East CLIL)

- (国語)英語俳句 (地歴)十字軍
- (公民)選挙と民主政治 (数学)多角形
- (理科)中和滴定 (保健)感染症
- (家庭)理想の食事 など

○高大連携

- ・異文化理解とグローバル
- ・海外研修のための危機管理
- ・渡航者感染症
- ・「ことばの世界」「数学入門」

学校環境のグローバル化

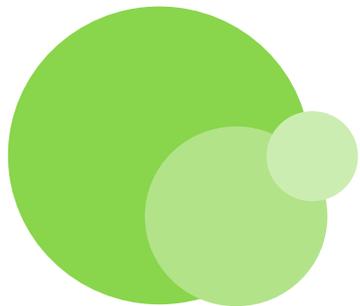


- SGH部活用
- 海外修学旅行
アメリカ、シンガポール・マレーシア
- 海外留学促進
「トビタテ！留学JAPAN」等
- 留学生受入
- 県内留学生との交流
愛媛大学との連携
- 海外高校との交流
シンガポール・ドイツ・ウガンダ
スカイプの活用
- 俳句の研究・発信・海外交流



コンソーシアムの構築

- 新たな産官学連携のコンソーシアム構築
- 松山市を中心にした新たな教育資源の開拓
- 松山市内の高校生と連携し、地域課題を議論する「松山市高校生地方創生会議」新設
- 「中四国SGH高校生会議」を発展させた「中四国高校生地方創生会議」新設



目次

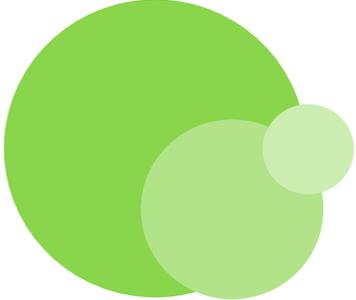


1. 構想概要

2. 研究開発・実践や高大接続について

3. 管理機関としての取組

4. 本取組における課題



教育課程表の工夫



- 1年次の「情報」及び2年次の「保健」のそれぞれ1時間を、「総合的な探究の時間」の中に取り込む。
- 1年次、2年次とも「総合的な探究の時間」を「G明教」として週2時間実施する。

「総合的な探究の時間」の活用

G明教 I 木曜日6,7限で実施



～アイデンティティとグローバル～



「校歌を学ぶ
～本校ゆかりの人物を通して～」
本校同窓教員 講話



松山市内フィールドワーク
「坂の上の雲ミュージアム・秋山兄弟
生家 訪問」



G明教 I

～グローバルとの出会い～

・グローバル入門



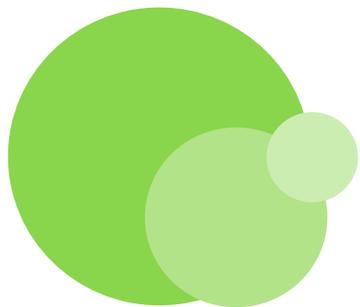
「地域社会の持続可能な発展に向けてー今、なぜグローバル人材が求められるのかー」

愛媛大学社会共創学部長 講演



「世界共通のゴール「SDGs」の達成に向かってー足元から世界とつながる！ー」

愛媛大学国際連携機構センター長 講演



G明教 I



・ アジアと愛媛の企業



「企業の見方 & 地域産品のマー
ケティング」

学習院大学経済学部教授 講演



「これからの、よのなかの話をしよう」

NPO法人 NEXT CONEXION

代表理事 講演



今後の取組 県内フィールドワーク

写真は過年度実施分

- ・ アジアと愛媛の企業 7/11実施予定



「愛媛県内企業訪問」

- ・井関農機
- ・住友化学
- ・住友林業
- ・オカベ
- ・三浦工業
- ・住友重機械
- ・アテックス

海外フィールドワーク



- (8月上旬 4泊5日)

台湾(1年生)

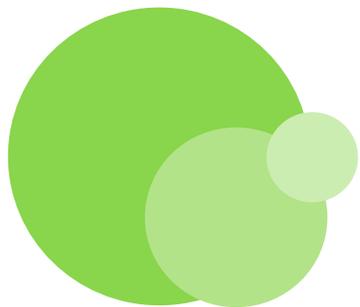
- ・開南大学
- ・みずほ銀行台北支店
- ・台湾三浦工業本社
台南工場



フィリピン(2年生)

- ・渦潮電機
- ・イントラムロスの市場
- ・HONDA 工場
- ・フィリピン大学附属 高校





語学研修

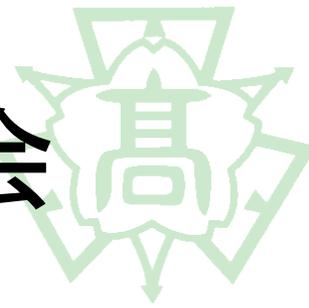


- アデレード語学研修(8月上旬 1・2年生)





フィールドワーク報告会



海外FW

松山市立子規記念博物館 4階講堂 (公開)



県内FW

本校体育館



G明教Ⅱ

～グローバル課題の発見～



- 地域の魅力と課題

松山市の「笑顔のまつやままちかど講座」を活用。
行政担当者による11テーマに分かれての講義。

テーマ例

松山がなくなる？

節水型都市づくりについて

スマートシティの推進

市の防災体制について

ことばを大切にするまち松山



G明教Ⅱ

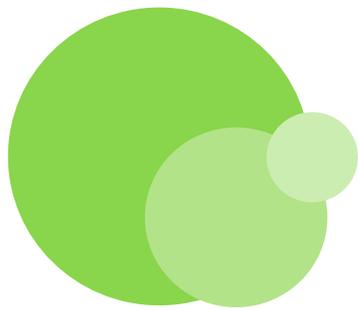
～グローバル課題の発見～



- 地域及び世界の持続的な発展のために
(課題研究)

グループに分かれて、各講師の指導のもと、課題を設定、当該課題に対する調査を実施し、研究。





課題研究の評価

「課題研究」ルーブリック評価(プロセス評価)

この評価基準は、課題研究を行っている途中で、テーマ設定、研究手法、取組状況、グループの各観点から評価を行うことを想定しているものです。

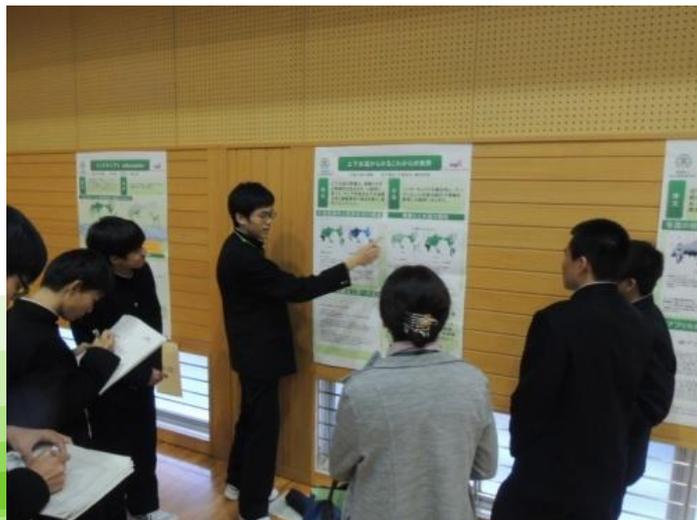
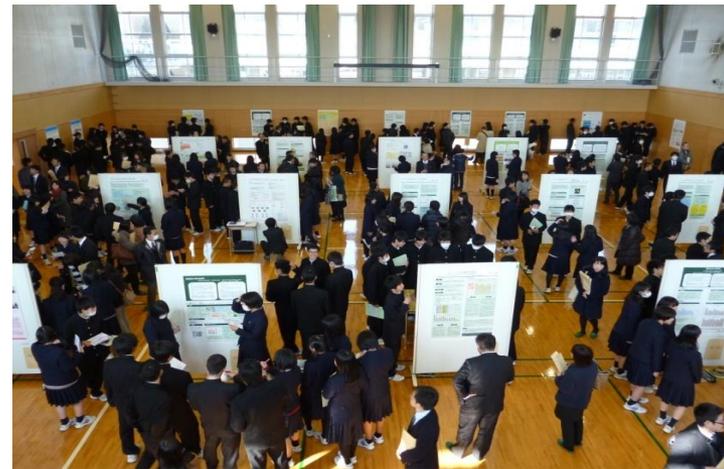
領域	評価観点	評価尺度					0(N/A)
		5(S)	4(A)	3(B)	2(C)	1(D)	
		求めているレベルを越えて達成している。	求めているレベルを十分に達成している。	求めているレベルをおおむね達成している。	求めているレベルを達成できていないが、幾分の努力が認められる。	求めているレベルを達成するには大きな課題がある。	基準が該当しない。
テーマ設定	先行研究	研究テーマに関連する先行研究の文献や資料を想定を超えた範囲まで丹念に調べており、研究に関する広範囲な情報を得ている。	研究テーマに必要な先行研究の文献や資料を精力的に調べており、研究を遂行していくために十分な情報を得ている。	研究テーマに必要な先行研究の初歩的な文献や資料を調べることで、何が研究されているのかをおおむね把握している。	研究テーマに必要な先行研究を多少調べたものの、これまで研究されてきた内容を十分把握できていない。	研究テーマに必要な先行研究を調べていない。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。
	課題意識と発展性	先端的/現代的な課題意識でテーマ設定がなされており、今後の研究により学術的・社会的な問題解決へと発展していく可能性が高い。	学術的・社会的な課題意識をもとにテーマが考案されており、今後の研究により課題解決に結びつくことが期待される。	学術的・社会的な課題意識をもとにテーマを考えようとしているが、必ずしも目新しい発想というわけではない。	学術的・社会的な課題意識から考えたというよりも、表面的な発想からテーマ設定を行っている。	単なる思いつきによるテーマ設定である。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。
研究手法	計画・準備と進捗状況	データ収集、分析、原稿作成などの実施時期や方法を進んで担当教員に相談・報告し、研究を主体的に進捗させている。	データ収集、分析、原稿作成などの実施時期や方法を担当教員に相談・報告し、計画どおりに進めることができる。	データ収集、分析、原稿作成などの実施時期や方法を担当教員と検討し、若干の遅れはあってもおおむね計画どおりに進めている。	実施上の日程計画や方法に関する検討や担当教員との打ち合わせが十分ではなく、計画どおりに進めることができていない。	実施上の日程計画や方法をもち合わせていないため、見通しを持たないままその場の成り行きで行っている。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。
	研究方法の妥当性	研究目的を達成するための、緻密で発想に富んだ研究方法が考案されている。	研究目的を達成するのに、現実性のある研究方法が具体的に考えられている。	研究目的に照らして研究方法を検討しているが、方法の実行可能性については、さらに検討していく必要がある。	研究方法は考えているが、研究目的を達成するためには検討が不十分である。	研究方法を自分で考えようとしていない。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。
取組状況	好奇心・興味関心・探究心	確固たる課題意識から研究に着手し、強い好奇心で研究を進めている。そのため研究テーマを深く探究し、関連事項にも課題意識が広がっている。	自らの課題意識から研究に着手し、興味がさらに深まっている。また、研究テーマの探究を行ったことで関連事項にも興味が広がっている。	研究を進めるにつれて興味を抱く事柄に出会ったため、関心をもって研究テーマに取り組んでいる。	研究を進めるにつれて興味を抱く事柄もあったが、進んで研究テーマを深めるどころまで行っていない。	研究を進める中で、自分が興味を抱く事柄を見出すことができていない。または、研究テーマを探究する意欲に欠ける。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。
	創意工夫・オリジナリティ	豊富な先行研究を踏まえた上で、調べた資料やデータから独創性のあるアイデアを導き出している。	先行研究を踏まえながら、調べた資料やデータを自分なりに解釈しようとしている。	調べた資料やデータを自分なりに解釈しようとしているが、解釈が先行研究に引きずられている面もある。	調べた資料やデータに独りよがりな解釈をしていたり、先行研究と無理やり関連づけたりしている。	調べた資料やデータの単なる羅列であったり、先行研究のまる写しであったりする。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。
1グループ	役割分担と協力	自分の役割を積極的に果たしながら、他のメンバーの手助けを行い、グループ研究で行う優れた研究をリードしている。	自分の役割を十分果たすとともに、建設的な意見を出すなど、グループ研究に貢献している。	自分の役割はおおむね果たしているが、他のメンバーへの寄与はさほど大きくない。	自分の役割は自覚しているものの、それを十分果たせていない。	自分の役割を果たそうとせず、グループの他メンバーに頼りきりである。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。

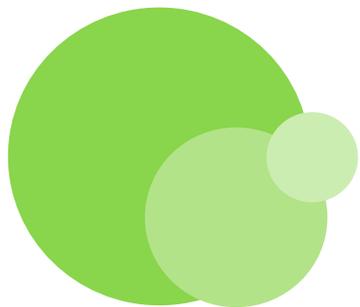


研究成果発表会



3月実施予定 本校体育館他（公開）





坊っちゃんタイム (言語活動の充実)



【East CLIL(松山東高校版内容言語統合型学習)】

英語と他教科との連携。各学期で2科目実施。

実施予定の科目は以下の通り。

1学期 East CLIL Modern Sociology

East CLIL Home Science

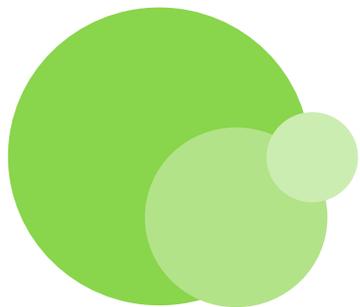
2学期 East CLIL Japanese

East CLIL Chemistry

3学期 East CLIL Mathematics

East CLIL Health Science





目次

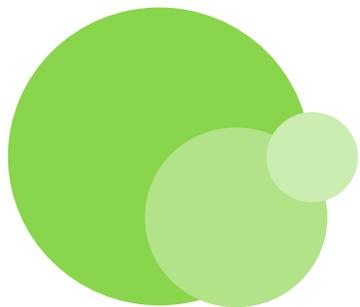


1. 構想概要

2. 研究開発・実践や高大接続について

3. 管理機関としての取組

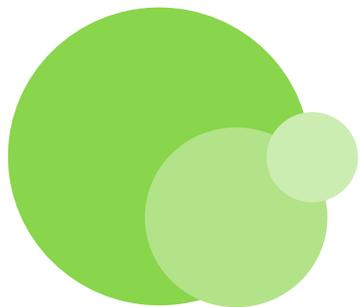
4. 本取組における課題



管理機関としての取組



- 専門的見地から指導、助言に当たる「運営指導委員会」の設置
- 取組状況等の把握と指導
- 県内高校、中学校の生徒及び教員に対して発表する機会を設け、成果の普及を図る



目次

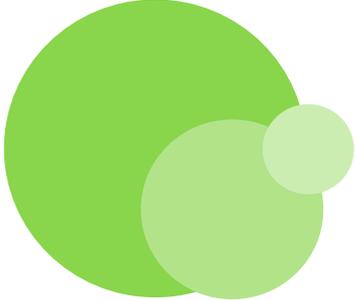


1. 構想概要

2. 研究開発・実践や高大接続について

3. 管理機関としての取組

4. 本取組における課題



本取組における課題



- 課題研究における高校教員と大学教員との連携及び役割分担
- 海外交流アドバイザー及び地域協働学習支援員との連携
- 海外フィールドワーク実施における引率旅費の確保



がんばっていきましょう

愛媛県立松山東高等学校

MATSUYAMA HIGASHI

EHIME Prefectural Senior High School

ご清聴ありがとうございました。